



# 令和2年度飯島町のお金の使いみち



～令和2年度決算状況の報告～

令和2年度一般会計の決算は、新型コロナウイルス感染症の拡大対策を優先課題に、また、第5次総合計画の最終年度として各種事業に取り組んだ結果、歳入総額は66億8,717万円、歳出総額は64億4,813万円となり、前年度を大きく上回る決算規模となりました。

主な事業は、以下のとおりです。

## 歳入総額

(入ってきたお金)

66億8,717万円

【前年度】  
52億9,067万円

## 歳出総額

(使ったお金)

64億4,813万円

【前年度】  
51億5,257万円

## 差引

(形式収支)

2億3,904万円

【前年度】  
1億3,810万円

## 新型コロナウイルス感染症対策事業 【総事業費:約13億2,200万円】

### 特別定額給付金事業 【9億3,613万円】

感染症の蔓延に伴う家計への支援として、国民1人あたり10万円を支給しました。



### 飯島町くらし復興券発行 1億円事業 【1億9,646万円】

感染症の拡大により影響を受けた地域経済と、生活の循環を促すため、「飯島町くらし復興券」の発行を第2弾まで行いました。



### 町商工業振興資金利子補給 補助金事業 【1,235万円】

経営安定対策融資を借り入れた事業者に対し、利子補給金として補助を行いました。



### 事業継続応援補助金 【1,197万円】

感染症拡大の影響を受けた町内の飲食・宿泊・タクシー業者等の事業者への支援(補助)を行いました。



### 教育施設等衛生環境改善事業 【3,015万円】

感染リスクを減らすため、保育園、小学校、文化館、図書館のトイレを洋式化するなどの設備改修を行いました。



### 指定避難所の資材購入 【2,768万円】

避難所における感染拡大防止を図るため、マスクや消毒液のほか、屋内用テント、段ボールベッド、空気清浄機、防災倉庫等を配備しました。



# 1. 教育・福祉増進事業（学校教育振興事業・子育て支援事業等）【約20億5千万円】

## ICT教育機器整備 【3,820万円】

小中学校の児童・生徒・教員が授業で使用する電子黒板やタブレットパソコン等の整備を行いました。



## 情報通信ネットワーク 環境施設整備 【2,065万円】

小中学校の児童・生徒・教員が授業で使用するパソコン等ICT教育機器を使用するためのネットワーク環境の整備を行いました。



## 「お助隊事業」の 取り組み（継続事業）

飯島版総合事業として推進するお助隊事業は、安心して暮らせる飯島町を目指し、お互い様の暮らし、町の地域資源を有効に活用することを含め、一歩ずつ取り組みを進めました。



## 4つの福祉計画を策定

町の「地域福祉計画・地域福祉活動計画」「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」「母子保健計画」「障害福祉計画・障害児福祉計画」の4計画を策定し、各分野の課題に対する取り組みの方向性を決めました。



# 2. 産業振興事業（儲かる飯島町チャレンジ事業・農業推進事業等）【約11億8千万円】

## スマート農業 基盤整備事業 【542万円】

農業の強靭化を図るため、農業の省力化に向けた自動走行農機等の普及に必要なRTK基地局の整備を支援しました。



## インターネット販売事業 【販売金額:1,132万円】

コロナ禍による巣ごもり需要の拡大などにより、アクセス数や販売金額が増加しました。



## 農業インターン研修制度 【90万円】

若い農業者（果樹）を育成するため、町とJAが連携して研修制度に取り組みました。



## 「地域複合営農への道V」 の策定 【70万円】

農業振興の20年先を見据えた10カ年計画として持続可能な農業の考え方や方向性を示す計画を策定しました。



# 3. 安全管理事業（町道整備事業・交通安全対策事業・防災対策事業等）【約9億円】

## 町道南田切線 道路改良工事 【1,136万円】

継続中である町道南田切線の道路改良工事を実施しました。



## 消防団員救命胴衣整備 【32万円】

各分団車両に救命胴衣を整備し、消防団装備品の充実を図りました。



## 自動車発進防止装置 取付補助金 【9万円】

自動車急発進防止装置取付補助金を創設し、高齢ドライバーのブレーキとアクセルの踏み間違いによる交通事故防止を進めました。



## 被災建築物応急危険度 判定用紙整備 【13万円】

大規模地震の発生に備え、応急危険度判定士が被災建築物に貼るための判定用紙の準備を行い、有事の備えを進めました。



## 4. その他

総務管理費・議会費・公債費など、行政3大事業（上記1～3）に分類されない事業費

【約23億1千万円】

## 令和2年度から3年度への繰越事業【総額9億3,267万円】

- ①農地整備事業(2,200万円)
- ②林道整備事業(3,010万円)
- ③観光費(8,433万円)
- ④観光施設管理費(2,556万円)
- ⑤社会資本整備総合交付金事業(6,671万円)
- ⑥住宅耐震対策促進事業(700万円)
- ⑦学校給食センター費(6億7,987万円)
- ⑧林業施設災害復旧事業【補助】(1,710万円)